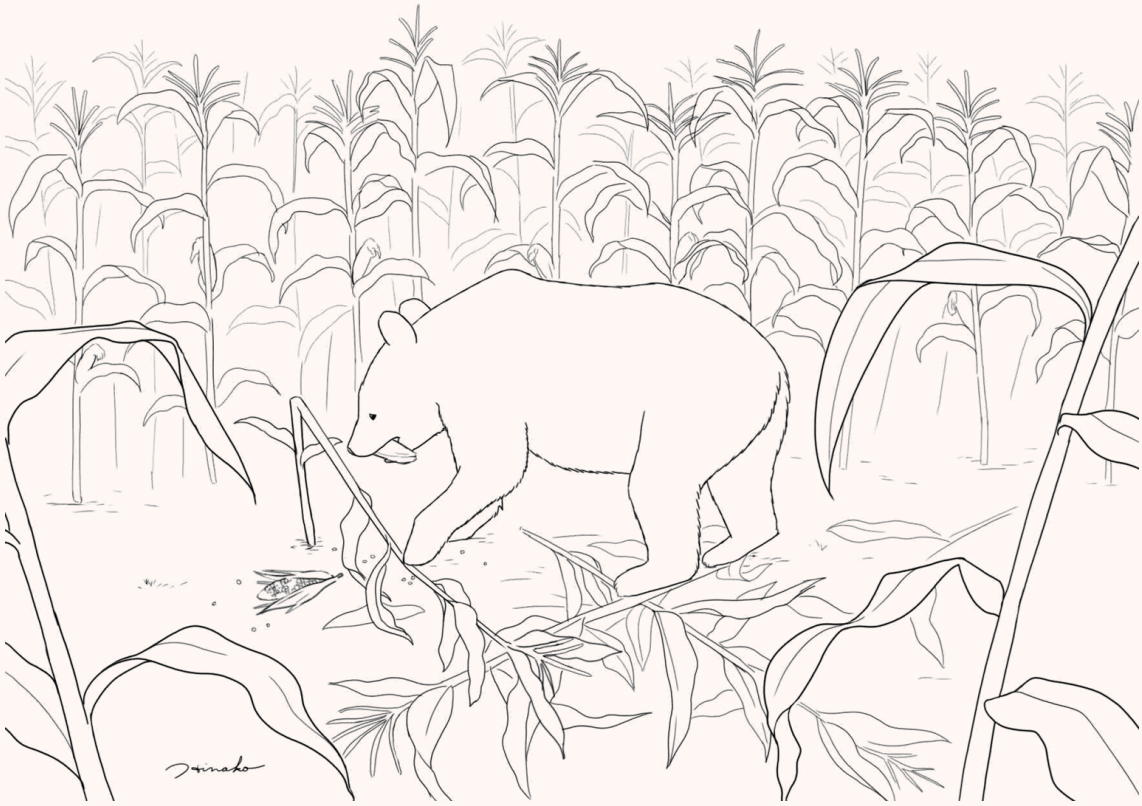
熊と人間



（Drawn by Hinako FUJIMURA）

最近、北海道では熊のニュースが増えています。熊が人間を傷つけたり、殺してしまったりしています。私たち人間は、熊を怖いと思っていますが、実は熊も、人間を怖いと思っています。ですから、普通、熊は人間を見ると、どこかへ逃げて行きます。人間がたくさん住んでいる町には近づきません。ところが、最近は、熊が町に来ることが増えてきました。

いくつか理由がありますが、大きな理由の１つは、熊の数が増えたからだと考えられています。

1990年まで、北海道では、春に熊を駆除していました。駆除というのは、人間にとって有害な生き物を殺すことです。熊は冬の間は眠っています。春に起きて、山の中を動きはじめます。毎年その頃に、ハンターたちが何頭もの熊を駆除していました。しかし、1991年からは、この「春熊の駆除」をやめました。熊の数がとても少なくなってしまったからです。熊は、昔から北海道に住んでいる生き物です。私たち人間がたくさんのビルや家を建てる前から、北海道の自然の中で自由に生きてきた生き物です。ですから、熊や、熊が住む自然を保護するために、駆除をやめたのです。

駆除をやめてから、熊の数はどんどん増えているようです。熊は一頭ずつ、自分の「なわばり」を持っています。「なわばり」というのは、その生き物が暮らす場所のことで、大人の熊は、一頭ずつ、自分だけの「なわばり」を持っています。他の熊といっしょには暮らしません。弱い熊は、なかなか自分の「なわばり」を持つことができません。だから、山の中ではなく、人間の住んでいるところにまで出てきてしまいます。そこで、人間の出した食べ物のゴミや、畑の野菜を食べて、そのおいしさを覚えてしまうそうです。

また、人間を怖いと思わない熊も増えている可能性があります。駆除をやめてから何十年か経ったので、人間に追われた経験がない熊が増えているからです。

最近、熊のニュースが増えているので、また熊の駆除を行うべきだという人もたくさんいます。自然を守ることと、人間の命を守ること。私たちは、この２つのバランスをとる方法を探さなければなりません。

（867字）

（2021.7 Written by Junko SATO）

この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例）出典：「たどくのひろば」（https://tadoku.info）

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.